

北海道士幌高等学校の行動計画(グローカル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローカル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 『志』プロジェクトを活用した、生徒の個々の目的意識の向上 (2) プロジェクト学習を中核としたPDCAサイクルを意識した活動	○『志』プロジェクトにより、目標を明確に持ち様々な場面で生徒が活躍しました。 ○各プロジェクト活動においてPDCAサイクルを意識した活動が展開された。	○『志』プロジェクトのより効果的な実践について検討する。	4
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	(1) 普通教科との連携による外国語学習の充実（ALTの活用） (2) GAPとHACCPの実践と発信 (3) アメリカ合衆国やキルギス共和国との生徒・教員間の交流	○町のALTを活用して外国語学習を実施した。 ○GAP・HACCPを科目内で実践し、教育活動の充実へ生かした。 ○諸外国との交流に取り組み、グローカルな教育活動を展開した。	○GAP・HACCPの取組について情報発信を強化する。 ○一過性の交流で終わらないよう、継続的な諸外国との交流を実施し、生徒の国際的な意識醸成を図る。	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 地域特産物を活用した栽培方法の検討 (2) IoTを活用した農作業の見える化・効率化の検討	○新顔作物であるサツマイモの栽培試験に取り組んだ。 ○e-kakashiやドローンを活用した土壌環境の分析に取り組んだ。	○作業状況の共有の簡便化や見える化を図り、さらなる効率化を目指す。	3
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域食材を用いた加工食品の開発とマーケティング学習 (2) HACCP認証取得後の衛生管理手法の実践 (3) 衛生管理機器の活用	○科目内やプロジェクト学習において地域資源を活用した商品開発に企業と共同で取り組めた。 ○製品の微生物検査に取り組み、加工品の安全性の確認ができた。	○必要に応じて衛生管理手法の見直しを実施する。	4
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 農業教科内での環境に配慮した教育の実践 (2) 課題研究「環境専攻班」によるプロジェクト活動の推進	○農業教科全体で環境に配慮した持続的な農業を推進し、共通認識を図った。 ○地域の防風林の保全・風倒木の活用に取り組んだ。	○学校樹木園の活用を進める。	5
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) ふるさと納税を活用した地域振興 (2) 新たな食材の開発・試作 (3) 地域の観光資源の発掘	○PR動画を作成しSNSで発信するなど、地域のPRに貢献できた。 ○「おから」の活用に向け、科目や専攻班で取り組んだ。	○地域連携の強化を図り、より地域に根ざした活動を展開する。	4
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) 地域の魅力を発信する取組の実践 (2) ICTの農業分野への効果的な活用の探究	○地域のイベントに積極的に参加し、地域振興に貢献した。 ○スマート農業をはじめとする最先端技術の知識・技術の習得に向け、外部の教育力を活用した講習を実施した。	○SNS等を活用した情報発信の在り方について検討する。	3
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 避難訓練等を通じた地域の防災意識の醸成	避難訓練や北海道シェイクアウトなどの訓練を実施して、防災意の醸成を図った。	○訓練にあたっての事前指導、事後指導の充実を図る。	4